

Ⅱ 調査結果の概要

1 人口の動向

(1) 総人口

本県の人口は、平成 21 年中に 1,142 人減少し、平成 22 年 1 月 1 日現在で 2,967,203 人となった。人口増減率は $\Delta 0.04\%$ となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 3,371 人の減少（増減率 $\Delta 0.11\%$ ）、社会動態で 2,229 人の増加（同 0.08% ）である。

男女別人口の内訳を見ると、男が 82 人の減少（増減率 $\Delta 0.01\%$ ）、女が 1,060 人の減少（同 $\Delta 0.07\%$ ）であり、この結果、平成 22 年 1 月 1 日現在で男 1,476,516 人、女 1,490,687 人となっている。（統計表第 4 表）

(2) 性比及び人口密度

平成 21 年 10 月 1 日現在の性比は 99.1 であり、前年同月を 0.1 ポイント上回った。

また、平成 21 年 10 月 1 日現在の人口密度は 486.8 人/ k m^2 であり、前年同月を 0.2 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

(3) 地域別人口

市部及び郡部別に見た平成 21 年中の人口増減は、市部が 237 人の増加（増減率 0.01% ）、郡部が 1,379 人の減少（同 $\Delta 0.48\%$ ）であった。この結果、平成 22 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,683,861 人、郡部が 283,342 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.5%、郡部が 9.5%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減を見ると、県北地域が 2,647 人の減少（増減率 $\Delta 0.41\%$ ）、県央地域が 286 人の増加（同 0.06% ）、鹿行地域が 32 人の減少（同 $\Delta 0.01\%$ ）、県南地域が 5,213 人の増加（同 0.53% ）、県西地域が 3,962 人の減少（同 $\Delta 0.68\%$ ）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 22 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.7%（642,783 人）、県央地域が 15.9%（473,134 人）、鹿行地域が 9.4%（279,606 人）、県南地域が 33.5%（995,170 人）、県西地域が 19.4%（576,510 人）となっている。（統計表第 4 表）

(4) 市町村別人口

市町村別の人口増減を見ると、11 市 1 村で増加、21 市 11 町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（3,368 人）であり、以下、守谷市（1,976 人）、水戸市（1,168 人）、つくばみらい市（870 人）、ひたちなか市（845 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（ $\Delta 1,296$ 人）であり、以下、筑西市（ $\Delta 1,116$ 人）、常陸太田市（ $\Delta 684$ 人）、石岡市（ $\Delta 675$ 人）、稲敷市（ $\Delta 612$ 人）の順となっている。

人口増減率を見ると、最も増加率の高い市町村は守谷市（3.34%）であり、以下、つくばみらい市（2.03%）、つくば市（1.61%）、東海村（1.20%）、牛久市（0.90%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は河内町（ $\Delta 1.91\%$ ）であり、以下、大子町（ $\Delta 1.80\%$ ）、高萩市（ $\Delta 1.52\%$ ）、稲敷市（ $\Delta 1.29\%$ ）、五霞町（ $\Delta 1.20\%$ ）の順となっている。（表 - 1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成21年)

人口増減数

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数	市町村名	人口増減数
1	つくば市	3,368	日立市	△ 1,296
2	守谷市	1,976	筑西市	△ 1,116
3	水戸市	1,168	常陸太田市	△ 684
4	つくばみらい市	870	石岡市	△ 675
5	ひたちなか市	845	稲敷市	△ 612
6	牛久市	722	笠間市	△ 581
7	土浦市	556	桜川市	△ 556
8	神栖市	535	坂東市	△ 520
9	東海村	438	かすみがうら市	△ 494
10	鹿嶋市	316	常陸大宮市	△ 482

人口増減率

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減率(%)	市町村名	人口増減率(%)
1	守谷市	3.34	河内町	△ 1.91
2	つくばみらい市	2.03	大子町	△ 1.80
3	つくば市	1.61	高萩市	△ 1.52
4	東海村	1.20	稲敷市	△ 1.29
5	牛久市	0.90	五霞町	△ 1.20
6	神栖市	0.57	常陸太田市	△ 1.19
7	ひたちなか市	0.54	桜川市	△ 1.18
8	鹿嶋市	0.48	かすみがうら市	△ 1.12
9	水戸市	0.44	行方市	△ 1.12
10	土浦市	0.39	八千代町	△ 1.11

また、市町村の人口規模を見ると、平成22年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、土浦市、古河市、取手市、ひたちなか市、筑西市）である。以上8市の合計は1,335,395人であり、県人口の約45%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が4町、1万人以上2万人未満の町村が4町村となっている。（表-2）

表-2 人口規模別市町村数の推移（昭和63年～平成22年）

各年1月1日現在 人口（人）	昭和																						
	63 (年)	64	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
総 数	89	88	88	88	88	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44
市 計	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32
20万以上	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
10万以上20万未満	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6
7.5万以上10万未満	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5
5万以上7.5万未満	6	6	6	7	7	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9
3万以上5万未満	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10
3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-
郡 計	69	68	68	68	68	67	67	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12
5万以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-
3万以上5万未満	10	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3
2万以上3万未満	19	16	16	16	16	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4
1万以上2万未満	23	23	23	23	24	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4
0.5万以上1万未満	15	15	15	14	13	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1
0.5万未満	2	2	2	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-

2 自然動態

(1) 自然増減

平成 21 年中の自然動態は、出生 24,615 人、死亡 27,986 人で 3,371 人の減少となった。自然増減率は△0.11%となっている。

5 地域別の自然増減率を見ると、県南地域が 0.02%と最も高く、以下、県央地域△0.09%、鹿行地域△0.10%、県北地域△0.22%、県西地域△0.24%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が 0.54%と最も高く、以下、東海村 (0.43%)、つくば市 (0.38%)、神栖市 (0.29%)、牛久市 (0.24%) の順となっている。(統計表第 6 表及び表 - 3)

(2) 出生

平成 21 年中の出生者数は 24,615 人 (男 12,686 人、女 11,929 人)、出生率は 8.3‰であった。

5 地域別の出生率を見ると、鹿行地域が 8.9‰と最も高く、以下、県央地域、県南地域 (8.6‰)、県北地域、県西地域 (7.8‰) の順となっている。

市町村別の出生率を見ると、東海村が 11.3‰と最も高く、以下、神栖市 (11.1‰)、守谷市 (10.8‰)、つくば市 (10.7‰)、つくばみらい市 (10.0‰) の順となっている。(表 - 3)

(3) 死亡

平成 21 年中の死亡者数は 27,986 人 (男 15,106 人、女 12,880 人)、死亡率は 9.4‰であった。

5 地域別の死亡率を見ると、県西地域が 10.2‰と最も高く、以下、県北地域 (10.1‰)、鹿行地域 (9.9‰)、県央地域 (9.5‰)、県南地域 (8.4‰) の順となっている。

市町村別の死亡率を見ると、大子町が 16.9‰と最も高く、以下、河内町 (13.7‰)、行方市 (13.2‰)、北茨城市 (12.8‰)、稲敷市 (12.5‰) の順となっている。(表 - 3)

表-3 自然増減、出生率及び死亡率順位(平成21年)

(自然増減率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率 (%)	市町村名	自然増減率 (%)
1	守谷市	0.54	大子町	△ 1.25
2	東海村	0.43	河内町	△ 0.78
3	つくば市	0.38	常陸太田市	△ 0.78
4	神栖市	0.29	北茨城市	△ 0.66
5	牛久市	0.24	稲敷市	△ 0.65

(出生率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率 (%)	市町村名	出生率 (%)
1	東海村	11.3	大子町	4.4
2	神栖市	11.1	常陸太田市	4.5
3	守谷市	10.8	利根町	4.8
4	つくば市	10.7	河内町	5.9
5	つくばみらい市	10.0	稲敷市	6.0

(死亡率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率 (%)	市町村名	死亡率 (%)
1	大子町	16.9	守谷市	5.3
2	河内町	13.7	牛久市	6.6
3	行方市	13.2	つくば市	6.9
4	北茨城市	12.8	東海村	7.0
5	稲敷市	12.5	龍ヶ崎市	7.6

3 社会動態

(1) 社会増減

平成 21 年中の社会動態は、転入者数 123,981 人、転出者数 121,752 人で 2,229 人の転入超過となった。社会増減率は 0.08%となっている。

市部及び郡部別に見ると、市部で 2,731 人の転入超過、郡部で 502 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 1,196 人の転出超過、県央地域が 708 人の転入超過、鹿行地域が 235 人の転入超過、県南地域が 5,028 人の転入超過、県西地域が 2,546 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 13 市 4 町村、転出超過が 19 市 8 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村は守谷市（社会増減率 2.80%）であり、以下、つくばみらい市（同 1.92%）、つくば市（同 1.23%）、東海村（同 0.76%）、牛久市（同 0.66%）の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は河内町（社会増減率△1.13%）であり、以下、高萩市（同△1.10%）、五霞町（同△1.04%）、かすみがうら市（同△0.99%）、の順となっている。（統計表第 8 表及び表 - 4）

(2) 移動数

平成 21 年中の移動数は 245,733 人、移動率は 8.28%であった。

また、県内市町村間の移動状況を見ると、転入者数 52,643 人、転出者数 52,751 人であった。

一方、県外間の移動状況を見ると、転入者数 66,899 人、転出者数 65,434 人であった。

市町村別の移動率を見ると、つくば市が 14.39%と最も高く、以下、守谷市 (12.14%)、牛久市 (10.83%)、土浦市 (10.63%)、美浦村 (10.40%) の順となっている。(統計表第 8 表及び表 - 4)

表-4 社会増減率及び移動率順位(平成21年)

社会増減率					移動率				
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	守谷市	2.80	河内町	△ 1.13	1	つくば市	14.39	桜川市	4.17
2	つくばみらい市	1.92	高萩市	△ 1.10	2	守谷市	12.14	大子町	4.24
3	つくば市	1.23	五霞町	△ 1.04	3	牛久市	10.83	常陸太田市	4.41
4	東海村	0.76	かすみがうら市	△ 0.99	4	土浦市	10.63	城里町	4.64
5	牛久市	0.66	美浦村	△ 0.87	5	美浦村	10.40	河内町	5.02

(3) 地域間移動

平成 21 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別で見ると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動を見ると、県南地域では他の 4 地域に対してすべて転入超過であった。

県外間移動を見ると、近隣都県への転出超過数は東京都が1,362人で最も多く、以下、千葉県(367人)、埼玉県(147人)、神奈川県(100人)、群馬県(14人)の順となっている。5地域別に見ると、鹿行地域、県南地域が転入超過であり、他の地域は転出超過であった。(表-5)

表-5 県内及び県外(近隣都県)別地域間移動数及び超過数(平成21年)

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)		
全体	転入計	119,542	100.0	19,045	100.0	19,268	100.0	11,169	100.0	51,663	100.0	18,397	100.0	
	転出計	118,185	100.0	20,389	100.0	18,617	100.0	10,956	100.0	47,310	100.0	20,913	100.0	
	超過数	1,357	-	△ 1,344	-	651	-	213	-	4,353	-	△ 2,516	-	
県内	転入者数	県内計	52,643	44.0	10,173	53.4	10,247	53.2	3,725	33.4	21,256	41.1	7,242	39.4
		県北地域	11,132	9.3	5,907	31.0	3,353	17.4	284	2.5	1,344	2.6	244	1.3
		県央地域	9,525	8.0	2,710	14.2	3,245	16.8	652	5.8	2,388	4.6	530	2.9
		鹿行地域	4,016	3.4	328	1.7	765	4.0	2,036	18.2	739	1.4	148	0.8
		県南地域	20,037	16.8	909	4.8	2,259	11.7	611	5.5	14,346	27.8	1,912	10.4
		県西地域	7,933	6.6	319	1.7	625	3.2	142	1.3	2,439	4.7	4,408	24.0
	転出者数	県内計	52,751	44.6	11,271	55.3	9,465	50.8	4,024	36.7	20,016	42.3	7,975	38.1
		県北地域	10,164	8.6	5,938	29.1	2,668	14.3	329	3.0	913	1.9	316	1.5
		県央地域	10,349	8.8	3,427	16.8	3,252	17.5	780	7.1	2,272	4.8	618	3.0
		鹿行地域	3,726	3.2	292	1.4	641	3.4	2,024	18.5	619	1.3	150	0.7
		県南地域	21,221	18.0	1,368	6.7	2,368	12.7	745	6.8	14,307	30.2	2,433	11.6
		県西地域	7,291	6.2	246	1.2	536	2.9	146	1.3	1,905	4.0	4,458	21.3
	超過数	県内計	△ 108	*	△ 1,098	*	782	*	△ 299	*	1,240	*	△ 733	*
		県北地域	968	*	△ 31	*	685	*	△ 45	*	431	*	△ 72	*
		県央地域	△ 824	*	△ 717	*	△ 7	*	△ 128	*	116	*	△ 88	*
		鹿行地域	290	*	36	*	124	*	12	*	120	*	△ 2	*
		県南地域	△ 1,184	*	△ 459	*	△ 109	*	△ 134	*	39	*	△ 521	*
		県西地域	642	*	73	*	89	*	△ 4	*	534	*	△ 50	*
県外	転入者数	県外総数	66,899	56.0	8,872	46.6	9,021	46.8	7,444	66.6	30,407	58.9	11,155	60.6
		栃木県	3,935	3.3	485	2.5	469	2.4	127	1.1	980	1.9	1,874	10.2
		群馬県	1,130	0.9	134	0.7	210	1.1	57	0.5	428	0.8	301	1.6
		埼玉県	6,220	5.2	663	3.5	832	4.3	413	3.7	2,639	5.1	1,673	9.1
		千葉県	9,594	8.0	820	4.3	1,021	5.3	1,614	14.5	5,321	10.3	818	4.4
		東京都	11,328	9.5	1,500	7.9	1,673	8.7	989	8.9	5,803	11.2	1,363	7.4
		神奈川県	5,367	4.5	868	4.6	702	3.6	599	5.4	2,587	5.0	611	3.3
		その他の道府県	29,325	24.5	4,402	23.1	4,114	21.4	3,645	32.6	12,649	24.5	4,515	24.5
	転出者数	県外総数	65,434	55.4	9,118	44.7	9,152	49.2	6,932	63.3	27,294	57.7	12,938	61.9
		栃木県	3,805	3.2	443	2.2	402	2.2	108	1.0	666	1.4	2,186	10.5
		群馬県	1,144	1.0	178	0.9	195	1.0	69	0.6	462	1.0	240	1.1
		埼玉県	6,367	5.4	742	3.6	900	4.8	380	3.5	2,352	5.0	1,993	9.5
		千葉県	9,961	8.4	1,061	5.2	1,133	6.1	1,514	13.8	5,181	11.0	1,072	5.1
		東京都	12,690	10.7	2,105	10.3	2,006	10.8	970	8.9	5,837	12.3	1,772	8.5
		神奈川県	5,467	4.6	1,009	4.9	917	4.9	502	4.6	2,349	5.0	690	3.3
		その他の道府県	26,000	22.0	3,580	17.6	3,599	19.3	3,389	30.9	10,447	22.1	4,985	23.8
	超過数	県外総数	1,465	*	△ 246	*	△ 131	*	512	*	3,113	*	△ 1,783	*
		栃木県	130	*	42	*	67	*	19	*	314	*	△ 312	*
		群馬県	△ 14	*	△ 44	*	15	*	△ 12	*	△ 34	*	61	*
		埼玉県	△ 147	*	△ 79	*	△ 68	*	33	*	287	*	△ 320	*
		千葉県	△ 367	*	△ 241	*	△ 112	*	100	*	140	*	△ 254	*
		東京都	△ 1,362	*	△ 605	*	△ 333	*	19	*	△ 34	*	△ 409	*
		神奈川県	△ 100	*	△ 141	*	△ 215	*	97	*	238	*	△ 79	*
		その他の道府県	3,325	*	822	*	515	*	256	*	2,202	*	△ 470	*

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

- ・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。
- ・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の県には国外を含む。

5) その他の移動者(従前の住所地なし、転出先不明等)数は含まない。

(4) 年齢別社会動態

平成21年中の県内における年齢別転入及び転出者数を5歳階級別に見ると、20歳～24歳(1,880人)及び50歳～54歳(72人)において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別に見ると、22歳が1,211人の転出超過(転入4,934人、転出6,145人)と最も多く、次いで23歳が512人(転入4,258人、転出4,770人)、24歳が172人(転入4,910人、転出5,082人)となっている。(統計表第13表及び図-5)

地域別の社会増減数を5歳階級別に見ると、県北地域、県央地域、県南地域、県西地域では20歳～24歳、鹿行地域では30歳～34歳の転出超過が多くなっている。(図-6)

図5 年齢(5歳階級)別転入及び転出者数

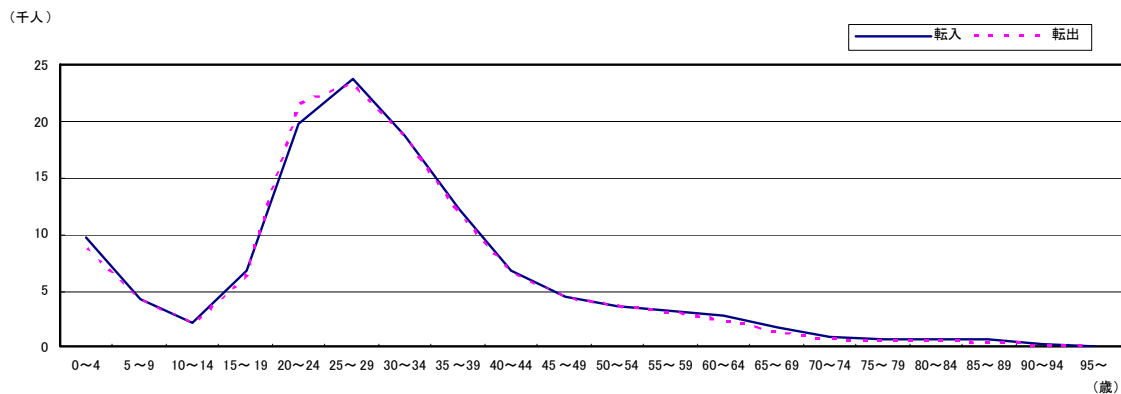
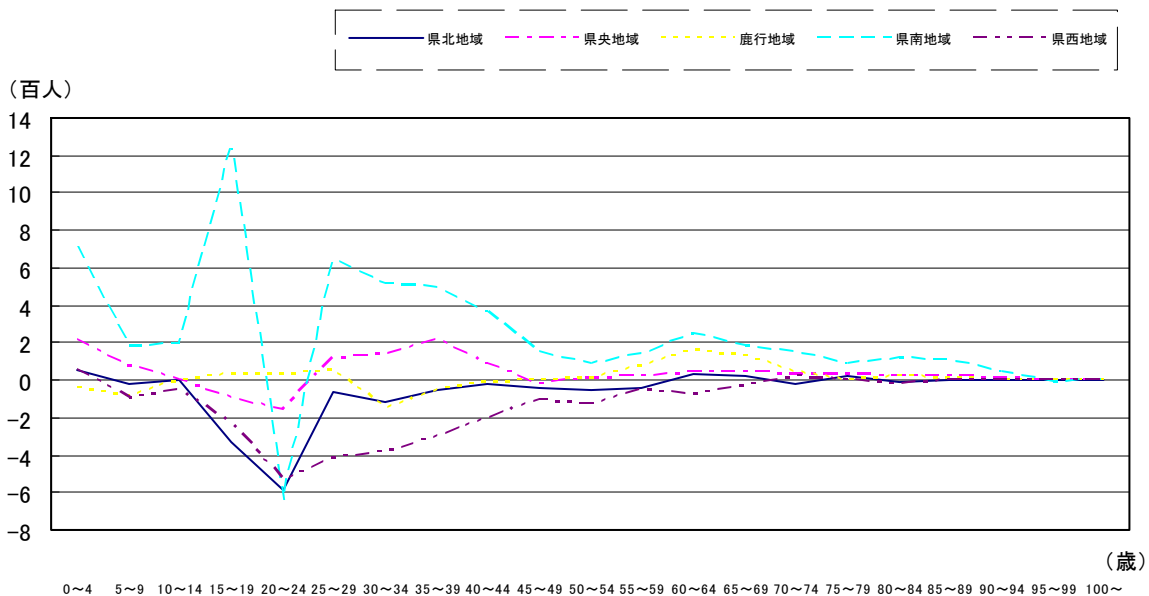


図6 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数(平成21年)



4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成22年1月1日現在の世帯数は1,090,875世帯であり、平成21年中に13,195世帯増加し、増減率は1.22%となっている。(統計表第4表)

1世帯あたり人員については、平成21年10月1日現在2.73人となっている。(統計表第1表及び図-7)

図7 人口増減率及び世帯数増減率の推移

